

評価・策定第一部会 (全体)

○各分野の指標は改善傾向にあるものの、これらの疾病の危険因子である、生活習慣の改善に係る領域2で改善が見られない分野もあり、引き続き対策を継続していく必要

領域1-1 がん(重点分野)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの75歳未満年齢調整死亡率は減少傾向だが、都民の主要死因割合の第一位はがんで28.2%(R2) ・都民のがん検診受診率(区市町村が住民を対象に実施する検診、職域における検診、人間ドック等を含む)は、5がんとも増加傾向だが、子宮頸がんは都がん対策推進計画の目標値50%に届いていない ・区市町村検診における精密検査受診率は50~80%台で、都がん対策推進計画の目標値90%に届いていない ・受診機会の多い職域におけるがん検診は、検査項目や対象年齢等、実施方法は様々であり、実施状況や受診者数等を把握する仕組みが出来ていない
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・がんのリスクを下げるための生活習慣等に関する普及啓発及び生活習慣や生活環境の改善につなげる取組の推進 ・がん検診の受診率向上やがん検診の質の向上に向けた関係機関支援や体制整備、がん検診受診に関する普及啓発の推進 ・国の動向を注視しながら、職域におけるがん検診の適切な実施に向けた必要な支援策の検討・実施

領域1-2 糖尿病・メタボリックシンドローム(重点分野)

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・保健指導実施率はやや増加しているものの、都医療費適正化計画に掲げた目標値(70%、45%)に届いていない ・メタボリックシンドローム該当者・予備群は横ばい傾向で、依然として約1割程度を占める
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣改善の工夫や定期的な健診受診、医療機関の早期受診・治療継続の重要性の啓発や、意識・行動変容の促進 ・都糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿った区市町村国民健康保険における関係機関と連携した効果的な取組を支援 ・特定健診・保健指導実施率の向上やデータヘルス計画に基づく保健事業に取り組む区市町村等に対する交付金の交付や、保険者協議会等を通じた先進的取組の情報提供による支援 ・特定健診・保健指導の実施の重要性や受診勧奨・治療継続の重要性に関する啓発、研修を実施し、医療保険者や事業者等の働く世代に向けた取組を支援

領域1-3 循環器疾患

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管疾患、虚血性心疾患による年齢調整死亡率は改善傾向だが、循環器疾患はがんに次ぐ都民の主要な死因で、全体の2割強を占める(R2) ・生活習慣改善や適切な治療により、高血圧、脂質異常症、喫煙、糖尿病等の危険因子を減らし、発症・重症化を予防することが重要
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣改善の工夫や定期的な健診受診、医療機関の早期受診・治療継続の重要性の啓発や、意識・行動変容の促進 ・特定健診・保健指導実施率の向上やデータヘルス計画に基づく保健事業に取り組む区市町村等に対する交付金の交付や、保険者協議会等を通じた先進的取組の情報提供による支援 ・特定健診・保健指導の実施の重要性や受診勧奨・治療継続の重要性に関する啓発、研修を実施し、医療保険者や事業者等の働く世代に向けた取組を支援

領域1-4 COPD

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・COPDは喫煙が最大の発症要因で、禁煙等により発症予防が可能であるため、正しい知識の普及啓発や喫煙率減少に向けた取組が必要
方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・COPDの予防、早期発見・早期治療の促進に向け、疾病の原因や症状、治療による重症化予防が可能であること等、正しい知識の普及啓発 ・禁煙を希望する都民が禁煙できるよう、区市町村等と連携し、積極的に支援

次期計画に向けた課題・今後の方向性について(案)

次期計画に向けた検討の方向性① 目標との差を埋めるアウトカム指標や、取組の効果を測ることのできる指標

- ・死亡率の減少や合併症発症者の割合の減少などの目標に対し、その実現のために達成すべきこと等のアウトカム指標の検討
- ・NDBオープンデータなどのビッグデータを活用した指標の検討
 - 例：循環器疾患の危険因子である高血圧、脂質異常症、糖尿病にかかる指標設定
 - <国での検討状況を踏まえた設定> ※都で把握可能か検証が必要
 - ✓ 高血圧：収縮期血圧の平均
 - ✓ 脂質異常症：LDLコレステロール160mg/dl以上の者の割合
 - ✓ 糖尿病：治療継続者の割合、HbA1c8.0%以上の者の割合
- ・取組の効果を即時に把握でき、PDCAサイクルの推進に役立つ指標の検討

次期計画に向けた検討の方向性② 都民の生活習慣改善を促す環境整備や、健康増進のための基盤整備

- ・現在のプランでは、領域3（ライフステージを通じた健康づくりと健康を支える社会環境の整備）の社会環境整備の分野において、「地域のつながりを醸成する」という目標に基づき、「地域で活動している団体数」などの指標・参考指標を設定
- ・国では、次期計画において、社会環境の質の向上を整理し、「社会とのつながりの維持・向上」「自然に健康になれる環境づくり」「誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備」の3つに分けて項目・指標案を検討
 - 都でも、生活習慣の改善につながる環境整備や、健康増進のための基盤整備の観点で指標や取組を検討していく必要がある
- ・検討に当たっては、区市町村、事業者・医療保険者、企業等の都民を取り巻く多様な主体における健康づくりの取組を促すことも必要

自然に健康になれる環境づくり 目標案

【国次期計画】項目案	【国次期計画】指標案
「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」への参画数の増加	(調整中)
歩きやすいまちづくり・環境整備に取り組む自治体数の増加	【国土交通省と調整中】
受動喫煙の機会を有する者の減少	受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合

誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備 目標案

【国次期計画】項目案	【国次期計画】指標案
スマート・ライフ・プロジェクトへ参画数の増加	(調整中)
健康経営の推進	【経済産業省と調整中】
利用者に応じた食事の計画、調理及び栄養の評価、改善を実施している特定給食施設の増加	管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合
メンタルヘルス対策に取り組む事業場の割合の増加	【省内担当部局と調整中】
心のサポーター数の増加	心のサポーター数